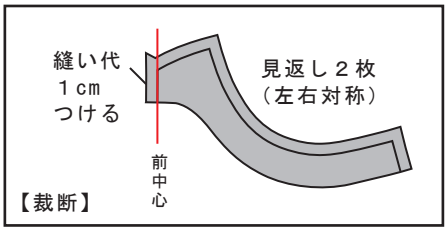
用意するもの

●布帛素材（有効生地巾 110cm）

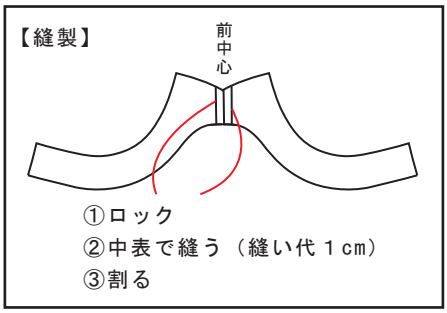
110cm 巾　2.7m（ただし、柄や生地に方向性がなくて、見返し２枚裁断、
前中心を接ぎにした場合は 2.4m で裁断可能）

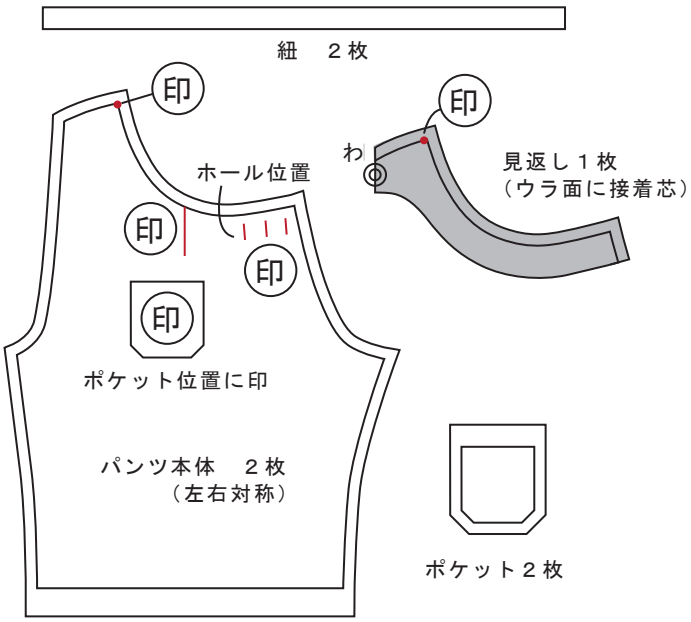
接着芯 0.4m



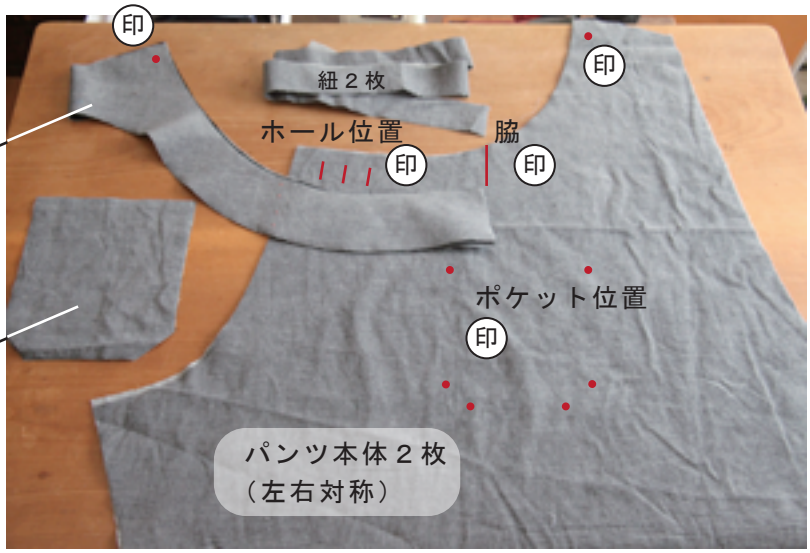
準備

●裁断パーツ４　合計７枚
●本体の、ポケット位置、胸当て部分角、
脇部分、ホール位置に印
●見返しのウラ面に接着芯



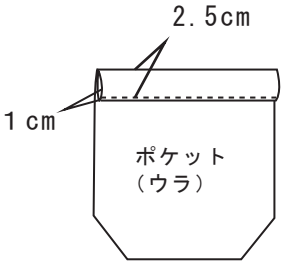


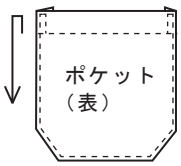
裁断



裁断をし、本体のポケット位置、胸当て部分の角（身頃、見返し両方）
ホール位置、脇部分に印を入れます。

ポケット





ポケット口を不完全三つ折りしてステッチ始末します。
周りの縫い代を折り込んで、前身頃に乗せて、縫いとめます。

裾アイロン

本体の裾を、できあがりに折っておきます。

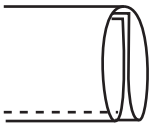
股下始末

パンツ本体の股下を、生地の表側からロックします。その後前後股下を中表に合わせて 1.5cm で縫い合わせます。縫い代は割ります。

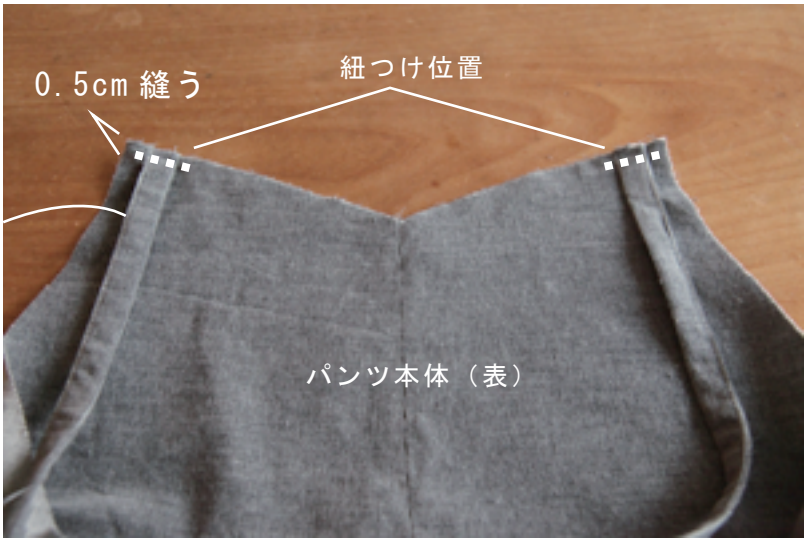
股ぐり始末

股ぐりを生地の表側からロック始末します。一方の筒にもう一方の筒を入れる形で中表に合わせ、1 cm で縫い合わせます。股下部分は前後 20cm のところまで二度縫いして補強します。縫い代は割りますが、股の部分（★）は自然に立たせておきます。

紐始末



紐を両側から折り込み、4 つ折りにしてステッチ始末で紐にします。
片側は、7 mm 折り込んで、縫いとめます。



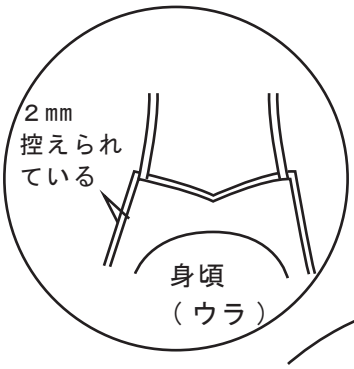
紐を、紐つけ位置に置き、端から0.5cmのところで仮止めします。

見返し始末

見返し奥を生地の表を上にして、ロック始末します。
後中心を中表に合わせて1cmで縫い、縫い代は割ります。

見返しつけ

本体と見返しの端を中表に合わせて、ぐるっと一周縫い合わせます。
見返しの前中心に切り込みを入れます。カーブのところは必要に応じて
切り込みを入れ、表に返します。

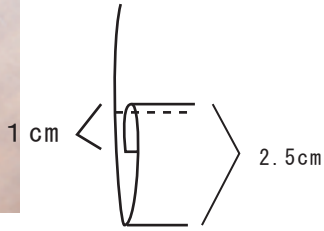


②落としミシン
（後中心も同様）

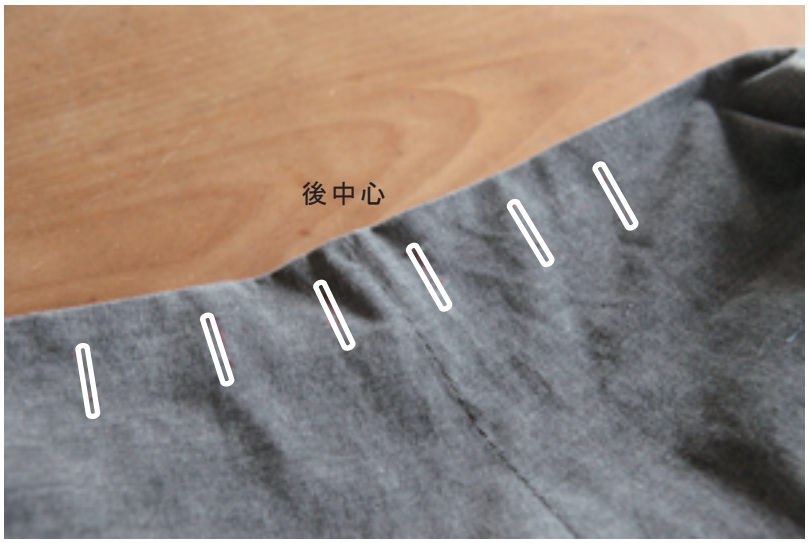
いずれも見返しが
パカパカ浮いて
こないための処理です。

見返し側が2mm控えられているのを確認して、上端をぐるりとコバステッチします。
前中心、後中心は、見返しまで通して落としミシン（はぎ目の隙間に針を落とす）
脇も、印をしたところに表から見返しまで通してステッチで止めます。

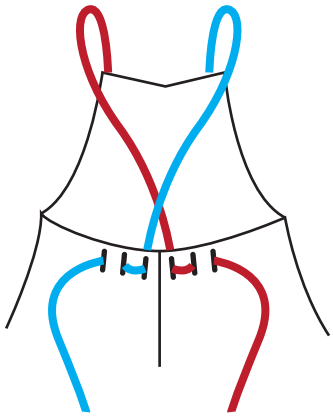
裾始末



裾をできあがりに折って、ステッチ始末します。



このように通します。



後中心で結んで完成です。

ホールを6つ作って、紐を通して完成です。